

High-performance Embedded Workshop V.3.01.02 リビジョンアップのお知らせ

統合開発環境 High-performance Embedded Workshop を V.3.01.02 にリビジョンアップしました。

1. 対象製品

- (1) SuperH RISC engine C/C++コンパイラパッケージ :
P0700CAS7-MWR
R0C40700XSW08R
- (2) H8S, H8/300シリーズ C/C++コンパイラパッケージ :
PS008CAS5-MWR
R0C40008XSW06R
- (3) M32Rファミリ用Cコンパイラパッケージ :
M3T-CC32R
- (4) M32C/80, M16C/80, M16C/70シリーズ用Cコンパイラパッケージ :
M3T-NC308WA
- (5) M16C/60, M16C/30, M16C/Tiny, M16C/20, M16C/10, R8C/Tinyシリーズ用
Cコンパイラパッケージ :
M3T-NC30WA
- (6) R8C/Tinyシリーズ用Cコンパイラパッケージ (専用無償評価版) :
M3T-NC8C
- (7) E10A-USBエミュレータ :
HS0005KCU01H
HS0005KCU02H
- (8) E7エミュレータ :
HS0007TCU01H
- (9) E6000Hエミュレータ
HS7058EPH60H 他
- (10) E6000エミュレータ
HS3664EPI62H 他

(11) E10Aエミュレータ
HS7705KCM02H
HS7729RKCM02H
HS7750RKCM01H
HS2378KCM01H 他

(12) E10TEミュレータ
HS3048BTCM01H
HS3048BTCI01H

2. バージョンアップ内容

2.1 追加機能と機能改善

- (1) ワークスペースウィンドウの機能追加
ワークスペースウィンドウのProjectsタブに表示されるファイルを、変更日時順にソートする機能を追加しました。また、表示されるファイルのアイコンの色によってビルド対象ファイル（前回のビルド以後に更新されたファイル）を識別できるようになりました。
- (2) メイクファイル生成機能の拡張
HMakeおよびNMakeファイル形式に加えGNUMakeファイル形式のメイクファイルを生成できるようになりました。また、コンパイルオプションを別ファイル（サブコマンドファイル）に出力できるようになりました。
- (3) バーチャルデスクトップ機能の追加
ウィンドウの表示状態を最大4つまでウィンドウコンフィグレーションで保持し、メニューまたはツールバーのボタンで切り替えられる機能（バーチャルデスクトップ機能）を追加しました。
- (4) ウィンドウ内容の保存機能の拡張
I/O、PA、およびRegisterウィンドウで表示している内容をテキストファイルに保存できるようになりました。
- (5) Watchウィンドウの改善
Watchウィンドウに登録した変数は、登録解除を行わない限り、ウィンドウを閉じてても保持されるようになりました。
- (6) プログラムカウンタのあるソースの直接表示機能の追加
現在のプログラムカウンタがあるソースファイルをオープンおよび行を表示するボタンをツールバーに追加しました。
- (7) ダウンロード機能の拡張
ロードモジュールをダウンロードする際に、変更されている

ソースファイルを自動的にビルドしてからダウンロードを行うオプションを追加しました。また、ロードモジュールダウンロード後、自動的にターゲットをリセットするオプションを追加しました。

- (8) アドレスフィールドの改善
アドレスフィールドにラベルリストを参照して入力できる機能を追加しました。また、アドレスフィールドに入力された過去20件のデータをドロップダウンリストで表示できるようになりました。
- (9) 自動バックアップ機能
ワークスペース、プロジェクト、およびセッションファイルを定期的にバックアップする機能を追加しました。
- (10) 表示形式のカスタマイズ機能の拡張
フォントやサイズのカスタマイズ機能をサポートしたウィンドウが増えました。

2.2 改修内容

- (1) エディタ編集中のフリーズ
ナビゲーション機能を有効にしている状態でファイルをエディタにて編集していると、High-performance Embedded Workshopが停止状態となる不具合を対策しました。
- (2) カスタムビルドフェーズを追加後のHigh-performance Embedded Workshopの不正終了
追加したカスタムビルドフェーズのオプション設定で出力ファイルを指定し、OKボタンを押下するとHigh-performance Embedded Workshopが不正終了する不具合を対策しました。
- (3) ワークスペースウィンドウにヘッダファイルの二重表示
同一のヘッダファイルが大文字と小文字でそれぞれ定義されている場合、ワークスペースウィンドウのプロジェクトタブにヘッダファイル名が二重に表示されてしまう不具合を対策しました。
【例】
File1.c : #include "SAMPLE.H"
File2.c : #include "sample.h"
(3)の詳細は2004年1月16日発行のRENESAS TOOL NEWS"High-performance Embedded Workshop ご使用上のお願い --依存関係の更新について--"を参照してください。
- (4) 検索文字列フィールドのTABキー入力
検索ツールバーの検索文字列フィールドにTABキーを入力するとHigh-performance Embedded Workshopが不正終了する

不具合を対策しました。

"TAB"を検索する場合は、TABコード (=09H) をエディタ上から検索文字列フィールドにカット&ペーストして検索を実行してください。

(4)の詳細は2004年1月16日発行のRENESAS TOOL NEWS"High-performance Embedded Workshop ご使用上のお願い --検索機能について--"を参照してください。

(5) ナビゲーション表示不正

配列型の変数宣言で要素数の前後にスペース (' ') があると、ワークスペースウィンドウのナビゲーションタブの情報が不正に表示される不具合を対策しました。

【例】

```
extern int tbl[ 2 ]
```

(6) カスタムビルドフェーズの依存関係不正

プロジェクトにカスタムビルドフェーズを追加した後に、プロジェクトにファイルを追加すると、カスタムビルドフェーズに追加した依存ファイル名が変更されてしまう不具合を対策しました。

3. High-performance Embedded Workshop V.3.01.02制限事項

High-performance Embedded Workshop V.3.01.02には以下の制限事項がありますのでご注意ください。

1. マップ表示機能の制限

(1) High-performance Embedded Workshop3の「メモリ」メニューに「マップ」が表示されません。

回避策：ツールバーの「MAP」ボタンでマップウィンドウを表示してください。

(2) マップウィンドウのLinker section setting情報が表示されません。

回避策：ツールチェインダイアログのデバッガタブの「表示」ボタンで「CPUハードウェアマップ」ウィンドウを開いてセクション内容を確認してください。

2. バーチャルデスクトップ機能の制限

(1) 以下のウィンドウをご使用の場合、バーチャルデスクトップ機能でウィンドウコンフィギュレーションを切り替えないでください。

- ・ モニタウィンドウ (E6000/E6000H,E10A-USB)
- ・ コードカバレッジウィンドウ (E6000H)

- ・ データカバレッジウィンドウ (E6000H)
 - ・ 拡張モニタウィンドウ (E6000,E10A-USB)
 - ・ EEPROMウィンドウ (E6000 H8/300H 3664)
- (2) バーチャルデスクトップのウィンドウコンフィグレーション毎にメモリウィンドウを開くことができません。
- (3) バーチャルデスクトップ機能を使用した場合、非表示のウィンドウコンフィグレーションのトレースウィンドウ、ステータスウィンドウは更新されません。そのため、コンフィグレーションを切り替えた場合、実際の状態と表示内容が一致しないことがあります。
- 回避策：ウィンドウを選択して「F12」キーでウィンドウを更新してください。

4. 入手方法とインストール手順

- (1) こちらのページから、hewv3121u.exeをダウンロードする。
- (2) ダウンロードしたhewv3121u.exeを実行する。

5. 注意事項

- (1) High-performance Embedded Workshop V.2.2以上がインストールされていない場合、High-performance Embedded Workshop V.3.01.02へはリビジョンアップされません。
- (2) High-performance Embedded Workshop以外のコンポーネント（ツールチェーン他）はリビジョンアップされません。
- (3) P0700CAS7-MWR（SuperH RISC engine C/C++コンパイラパッケージ）をお持ちのお客様は、一旦、コンパイラパッケージをV.7.1.03、もしくはV.7.1.04までアップデートしてから、このページにあるアップデートを行ってください。
PS008CAS5-MWR（H8S, H8/300シリーズC/C++コンパイラパッケージ）をお持ちのお客様は、一旦、コンパイラパッケージをV.5.0.05、もしくはV.5.0.06までアップデートしてから、このページにあるアップデートを行ってください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

